別記様式（第３条関係）　　（表）

記載例

自　動　車　事　故　報　告　書

国土交通大臣　○○○○　殿

代表者印は無くても可

自動車の使用者の氏名又は名称　四国運輸株式会社　代表取締役○○　○○

住　　所　高松市サンポート３番－○○

電話番号　０８７－８３５－○○○○

令和　○○　年　○○　月　○○　日　提出

☆印欄は具体的に記入すること。

※印欄は記入しないこと

◆印欄は車両故障の場合必要ありません

☆発生日時	○○　年　○○　月　○○　日　○○　時　○○　分	☆路線名又は道路名	県道○○号　道　線
天　　候	(1) 晴れ　2 曇　3 雨　4 雪　5 霧　6 その他		
☆発生場所	香川　都道府県　高松　区市郡　鬼無　区町村　○○　番地		

☆当該自動車の使用の本拠の名称及び位置	☆自動車登録番号又は車両番号
本社営業所 高松市サンポート３番－○○ 車検証の使用の本拠の位置を記入してください。	香川１００あ○○○○ トレーラの場合は両方記入してください。

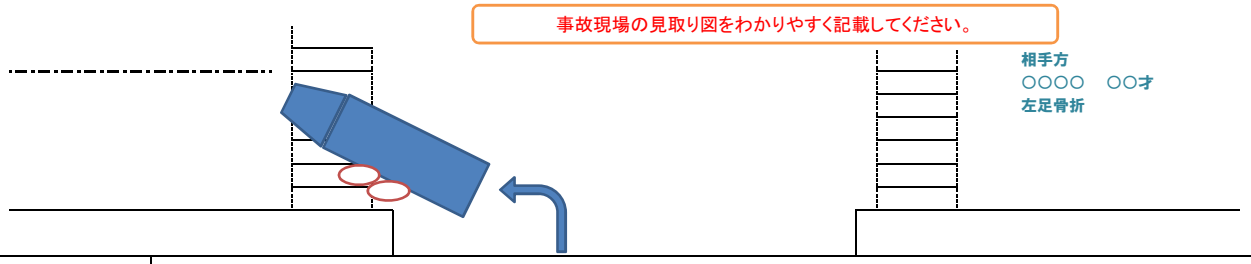
☆当時の状況

当社○○営業所の運転者○○○○は、平成○○年○○月○○日午前○時○○分に出社し、運行前の点呼を受け、○○号車で○○時○○分に出庫した。○○営業所にて○○を積み、○○に向けて出発した。○○時○○分頃、上記場所の交差点を信号機に従い左折しようとしたところ、自転車が横断歩道を横断し始めたため急ブレーキをかけたが間に合わず、自車後輪に引っかけ自転車を転倒させた。自転車に乗っていた方は転倒したはずみで左足を骨折した。

事故の発生状況を詳しく記載してください。

☆◆現場の略図（道路上の事故の場合には車線の区分を明らかにして図示すること。）

事故現場の見取り図をわかりやすく記載してください。



☆当時の処置	運転者は、トラックを車線左側にハザードランプを点けて停車させ、転倒した方を歩道に寝かせ、救急車の手配をした。
☆事故の原因	左折時の横断歩道の確認不十分
☆再発防止対策	交差点での右左折時の徐行と歩行者等の確認を十分に行うよう全運転者に指導を実施した。 御社の事故再発防止について記載してください。
※備　　考	記入しない

（日本工業規格Ａ列４番）

（裏）

事故の種類

区分	1 転覆	2 転落	3 路外逸脱	4 火災	5 踏切	6 衝突	7 死傷	8 危険物等	9 車内	10 飲酒等	11 健康起因	12 救護違反	13 車両故障	14 交通障害	15 その他
☆発生の順							○								

2種類以上の事故が生じたときは「発生の順」の欄に番号を記入してください。

☆転落の状態　落差　　m　　水深　　m

衝突等の状態　1 正面衝突　2 側面衝突　3 追突　4 接触　5 物件衝突

当該自動車の概要

☆車名	☆型式	☆車体の形状	☆初度登録年又は初度検査年
○○○	□□□－□□□□	バン	平成２２年

車検証のとおり記載してください。

事業用　1 乗合旅客　2 貸切旅客　3 乗用旅客　4 特定旅客　5 一般貨物（イ特別積合せ貨物　ロその他）　6 特定貨物　7 特定第二種

自家用　1 有償貸渡し（レンタカー）　2 有償旅客運送　3 その他

種別　1 普通　2 小型　3 その他

☆乗車定員　2 人　☆当時の乗車人員　1 人

☆最大積載量　4，000 kg　☆当時の積載量　3，000 kg

kg　kg

許可等の必要性			
	制限外許可	1 有	2 無
	特殊車両通行許可	1 有	2 無
	保安基準の緩和	1 有	2 無
許可等の取得状況	制限外許可	1 有	2 無
	特殊車両通行許可	1 有	2 無
	保安基準の緩和	1 有	2 無

貨物の内容　1 土砂等　2 長大物品等　3 コンテナ　4 生コンクリート　5 危険物等　6 冷凍、冷蔵品　7 原木、製材　8 引越　9 その他

積載危険物等
- 運搬の有無　1 有　2 無
- 種類　1 危険物　2 火薬類　3 高圧ガス　4 核　5 R I　6 毒劇物　7 可燃物
- ☆品名及び積載量又は放射能の量　品名（　　）kg、l　（　　）Bq
- イエローカードの携行状況　1 有　2 無

道路等の状況

種類　1 道路（イ高速自動車国道　ロ自動車専用道路等　ハその他）　2 その他の場所

☆道路の幅員　路肩部分も含み総幅員を記載してください　12 m

こう配　1 平たん　2 上り　3 下り

道路の形態　1 直線　2 右曲り　3 左曲り　4 交差　5 つづら折り

路面の状態　1 乾　2 湿　3 積雪　4 氷結

警戒標識の設置　1 有　2 無　☆当該道路の制限速度　40 km/h

踏切の状態　1 遮断機付き　2 警報機付き　3 その他

営業所及び運行等の状況

☆当時の運行計画（発地・経由地・着地）　本社→岡山市→坂出市→丸亀市→本社帰庫

車両故障の場合は記載不要です。

☆運送契約の相手方の氏名又は名称、住所等（貸切旅客のみ）

安全性優良事業所の認定（貨物のみ）　1 有　2 無

運送形態　1 下請運送　2 その他

☆荷送人の氏名又は名称及び住所　高松冷食（株）　高松市鬼無町○○○○

☆荷受人の氏名又は名称及び住所　スーパー○○○　岡山市○○○○○○

当時の状況

☆危険認知時の速度　20 km/h

☆危険認知時の距離　3 m

☆スリップ距離　1 m

タコチャート、運転者の証言、現場検証により記載してください。

当該自動車の事故時の走行等の態様　1 直進（加速）　2 直進（減速）　3 直進（定速）　4 後退　5 追越　6 右折　7 左折　8 駐車　9 停車　10 転回　11 合流　12 その他

道路上での事故の場合には事故発生地点　1 車道　2 歩道　3 横断歩道　4 路側帯　5 路肩　6 交差点　7 バス停留所　8 トンネル　9 その他

人、自転車との事故の場合、記載してください。

死傷事故の場合には死傷者の状態　1 左側通行　2 右側通行　3 信号無視　4 車道通行　5 歩道通行　6 横断歩道歩行　7 車の直前横断　8 斜横断　9 飛び出し　10 酩酊　11 路上作業　12 路上遊戯　13 乗降中　14 安全地帯　15 自転車運転　16 その他

車両故障の場合は記載してください。

車両の故障に起因する場合には故障箇所　1 原動機（速度抑制装置を除く）　2 速度抑制装置　3 動力伝達装置　4 車輪（タイヤを除く）　5 タイヤ　6 車軸　7 操縦装置　8 制動装置　9 緩衝装置　10 燃料装置　11 電気装置　12 車枠及び車体　13 連結装置　14 乗車装置　15 物品積載装置　16 窓ガラス　17 騒音防止装置　18 ばい煙等の発散防止装置　19 灯火装置及び指示装置　20 反射器　21 警音器　22 視野を確保する装置（後写鏡、窓ふき器等）　23 計器（速度計、走行距離計等）　24 消火器　25 内圧容器及びその附属装置　26 運行記録計　27 その他

◆乗務員

運転者
- ☆氏名　○○○○○
- ☆年齢　40 才
- ☆経験年数　5 年　5 月
- 自動車の運転を職業とする者にあっては勤務
  - 本務・臨時の別　1 本務　2 臨時
  - ☆事故日以前１ヶ月間に出勤しなかった日数　7 日
  - ☆乗務開始から事故発生までの乗務時間及び乗務距離　0．5 時間　10 km
  - ☆最近出勤しなかった日から事故日までの勤務日数及び乗務距離の合計　勤務日数　3 日　乗務距離　900 km
- 損害の程度　1 死亡　2 重傷　3 軽傷
- シートベルトの着用状況　1 着用　2 非着用　3 非装備
- ☆交替運転者の配置　1 有　2 無（交替後の乗務時間及び乗務距離）　時間　km
- ☆過去３年間の事故の状況　（過去３年間の事故件数）0 件　（最近の事故年月日）　年　月　日
- ☆過去３年間の道路交通法の違反の状況　（過去３年間の違反件数）1 件　（最近の違反年月日）23 年 5 月 1 日
- ☆過去３年間の適性診断の受診状況　1 有　2 無　（最近の受診年月日）24 年 10 月 2 日　（適性診断受診場所）事故対策機構高松
- ☆最近の健康診断の受診年月日　（最近の受診年月日）24 年 12 月 3 日

車両故障の場合は記載不要です。

車掌
- 本務・臨時の別　1 本務　2 臨時
- 損害の程度　1 死亡　2 重傷　3 軽傷
- シートベルトの着用状況　1 着用　2 非着用　3 非装備

☆◆運行管理者

車両故障の場合は記載不要です。

	運行管理者	統括運行管理者
氏名	◇◇◇◇◇	△△△△△
運行管理者資格者証番号	四香貨物第○○○号	四香貨物第○○○号

☆損害の程度
- ◆死亡　人（うち乗客　人）
- ◆重傷　1 人（うち乗客　人）
- 軽傷　人（うち乗客　人）

※事業者番号

※再発防止対策

記入しないこと

別表3　車両故障事故報告書添付票

<table>
<tr><td colspan="2">自動車検査証の有効期間</td><td colspan="3">令和　　年　　月　　日まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用開始後の総走行距離</td><td colspan="3">ｋｍ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">最近における大規模な改造</td><td>内容</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>施行期日</td><td colspan="3">年　　月　　日</td></tr>
<tr><td>施行者</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">破損又は脱落部品名</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">同上部品の名称</td><td colspan="2" rowspan="2"></td><td>前　　後</td></tr>
<tr><td>左　　右</td></tr>
<tr><td colspan="2">当該部品を取付てから事故発生までの走行キロ</td><td colspan="3">ｋｍ</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">当該部品を含む装置の整備及び改造の状況</td><td>年　　月　　日</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>年　　月　　日</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>年　　月　　日</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">破損又は脱落の状況
（略図又は写真）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">当該部品の製作者（不明な場合は販売者）の氏名又は名称及び住所</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">疲労又は急進破壊の別</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">材質、加工、設計等に対する意見</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>